

○第85回農薬専門調査会幹事会（公開）

日時：平成24年8月24日（金）14：00～17：00

議事概要：

（１）農薬（ジカンバ、イプフェンカルバゾン、ジフェノコナゾール、フルフェナセット、プロパルギット）の食品健康影響評価について

①ジカンバ

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.3mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 除草剤で、芝、草地等に使用します。大麦、大豆へのインポートトレランス設定要請及びインポートトレランスに基づき、大麦及び大豆を対象にした飼料中の残留基準の設定要請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）、飼料中の残留基準が設定されています。

②イプフェンカルバゾン、

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.00099mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 除草剤で、今回、水稻への新規登録申請がされています。

③ジフェノコナゾール

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.0096mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 殺菌剤で、りんご、なし、トマト等に使用します。今回、ピーマン、なす、茶への適用拡大申請及び高麗人参等へのインポートトレランスの設定が要請されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

④フルフェナセット

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.011mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 除草剤で、日本国内での農薬登録はありません。今回、ばれいしょ等へのインポートトレランスの設定が要請されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

⑤プロパルギット

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.0098mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* 殺虫剤で、おうとう、りんご等に使用し、みかん、もも、茶等への適用拡大申請及び魚

介類への残留基準値設定の要請がなされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

（２）農薬（ピラクロストロビン、フルベンジアミド）の食品健康影響評価について

①ピラクロストロビン

・次回審議となった。

*殺菌剤で、りんご、もも等に使用します。今回、トマト、ミニトマト、ピーマン、ししとう、いちご、茶への適用拡大申請及びさとうきび、ブロッコリー、なたね等へのインポートトレランス申請がされています。

②フルベンジアミド

・次回審議となった。

*殺虫剤で、もも、キャベツ、茶等に使用します。今回、とうもろこし、そば、あずき、やまのいも、かぶ、わさびだいこん、メキャベツ、非結球あぶらな科葉菜類、カリフラワー、なばな類、にんじん、とうがらし類、しょくようほおずき、メロン、にがうり、オクラ、しょうが、豆類（未成熟）、さやえんどう、ヤングコーン、やまのいも（むかご）、かんきつ、小粒核果類、かき、キウイフルーツへの適用拡大申請及びナッツ類へのインポートトレランス申請がされています。

（３）農薬（ホルベット、ホスチアゼート）の食品健康影響評価について調査審議する評価部会の指定について

①ホルベット

・評価第三部会において調査審議中であることが報告された。

*殺菌剤で、トマト、ぶどう等への新規登録申請がされています。また、ポジティブリスト制度導入に伴う暫定基準が設定されています。

②ホスチアゼート

・評価第三部会において調査審議をすることとなった。

*殺虫剤で、いちじく、かんしょ、なす、だいこん、きく等に使用します。今回、いちご、きゅうり、ピーマンへの適用拡大申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。